

# コンパクト 10 スピーチ

## 取扱説明書

バージョン 1.3

© 2019 Optelec, the Netherlands  
All rights reserved





## 目次

1. はじめに.....	6
取扱説明書について .....	6
安全上のご注意 .....	7
液晶モニターに関するご注意.....	8
ご使用上の注意 .....	9
内容物.....	15
2. 操作方法.....	16
2.1. 各部の説明.....	17
2.2. バッテリーの充電.....	19
充電警告.....	19
2.3. 電源オン/オフ.....	20
待機モード.....	20
充電状態の確認.....	20
2.4. スタンドの開閉.....	22
3. カメラ .....	24
3.1. 読書モードカメラ.....	24
3.2. 遠方モードカメラ .....	24
3.3. A4 サイズ撮影用カメラ .....	25
4. アイコン.....	26

5. 読み上げ機能.....	29
5.1 A4 サイズモードでの音声機能の使用方法 .....	29
5.2 音量と読み上げ速度の調整 .....	31
5.3 言語と音声の調整 .....	32
5.4 テーブルモード .....	32
6. 簡単モードと標準モード.....	33
6.1 簡単モードの機能.....	35
6.1.1 倍率の変更.....	35
6.1.2 カラーモードの変更.....	36
6.1.3 コントラストの調整.....	37
6.1.4 テキスト読み上げ.....	38
6.1.5 フォーカスロック.....	38
6.2. 標準モードの機能（簡単モードに追加される機能）.....	39
6.2.1 日時設定.....	39
6.2.2 静止画撮影.....	39
6.3. メインメニュー .....	41
6.3.1 音声.....	42
6.3.2 ライン オン/オフ.....	43
6.3.3 バッテリー残量.....	43
6.3.4 保存.....	44
6.3.5 開く.....	44
6.3.6 削除.....	45

6.3.7	明るさ調整バー.....	47
6.3.8	設定.....	47
6.3.9	カラー.....	48
6.3.10	表示.....	49
6.3.11	MIRACAST(ミラキャスト) : モニターやテレビへのワイヤレス接続機能.....	50
6.3.12	BLUETOOTH (ブルートゥース).....	52
6.3.13	ライン.....	54
6.3.14	操作バー.....	55
6.3.15	アイコン表示色.....	55
6.3.16	照明.....	56
6.3.17	音.....	56
6.3.18	待機.....	57
6.3.19	初期設定.....	57
7.	画像をパソコンに転送する.....	59
8.	カメラのお手入れ.....	60
9.	製品仕様.....	61
10.	お客様相談室.....	62

## 1. はじめに

この度は、コンパクト 10 スピーチ(以下、本機)をお買上げ頂き、誠にありがとうございます。本機は Optelec 社(オランダ)が開発・製造した商品です。

本機は、10 インチの大画面を搭載し、簡単に文字の拡大や読み上げができる携帯型拡大読書器です。被写体の上に本機を置いて簡単に文字や写真を拡大し、見やすい表示色で確認することができます。本体内蔵のスタンドを折りたたむと、離れたところの文字や景色を拡大して確認できます。

アーム式のA4サイズ撮影用カメラを使用すると、A4 サイズまでの範囲で文章を撮影し、スクロールして全体を読むことや、音声により内容を読み上げることができます。また、カメラの下のスペースに葉の箱や缶詰などを入れて、表面に書かれた文字を読むこともできます。

文字の筆記をする際にも、アーム式カメラを使用すると、広いスペースの下で楽に筆記ができます。

本機は卓上型読書器、携帯型読書器、読み上げ読書器の機能を有した優れた読書器です。

本取扱説明書をよくお読みいただき、本機の機能を使いこなし、本機の素晴らしさを実感してください。

## 取扱説明書について

本取扱説明書では、本機の機能と基本操作についてご説明します。本取扱説明書をよくお読みになり、機能をよりよく理解してからご使用ください。

## 安全上のご注意

以下の安全上の注意に従って、ご使用ください。

- 本体を直射日光が当たる場所や、極端に温度が低い、または高い環境で、ご使用にならないでください。製品の破損や故障の原因になります。
- 本体を自分で修理したり、分解したりしないでください。された場合は、保証の対象外になります。技術サポートが必要な場合は、弊社お客様相談室か、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。
- 本体が濡れないようにご注意ください。
- 本体を落としたり、ぶついたりしないでください。製品の破損や故障の原因になります。
- バッテリーを取り出したりしないでください。バッテリーの交換などが必要な場合は、弊社お客様相談室か、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。
- お手入れの際には、必ず、本体の電源を切り、USBケーブルを本体から抜いてから行ってください。乾いた柔らかい布をご使用ください。洗剤や研磨剤をご使用にならないでください。製品の破損や故障の原因になります。

## 液晶モニターに関するご注意

液晶モニターは、衝撃、圧迫、落下などで強い力が加わると割れることがあります。取り扱いには十分注意してください。なお、上記の原因による割れやキズは、保証期間中でも有償修理となります。また、液晶モニターが割れた場合は、モニター部や内部から漏れた液体には絶対に触らないでください。



## ご使用上の注意

- ・ ごくまれに、内部の処理が正常に行われなかった場合などに、英語のエラー表示が画面に表示されることがあります。「OK」もしくは「× Close app」をタッチすればエラー表示は消え、正常に使用できます。
- ・ 本機の操作(スタンドの開閉、ボタンやアイコンの操作)は、連続して行わず、次の操作を行う場合は、少し間を開けて行ってください。誤動作する場合があります。
- ・ 本機の画面はタッチパネルになっています。タッチパネルの操作は指で行いますが、爪では反応しませんのでご注意ください。また、タッチペンでの操作は推奨しておりませんので、ご了承ください。
- ・ 画面保護シートを貼られた場合、誤動作や操作できないなどの可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 本体の画面や指に極端な汚れがある場合、画面にタッチしても反応しない場合があります。
- ・ 使用中において、本体を上下左右に移動させながら文字などを見る場合、動かし方によっては、文字などの追従が少し遅れたり、かすれたりする場合があります。

- ・ 光沢ある原稿を見る場合、本機のライトが反射し、画面に映り込む場合があります。
- ・ LED ライトを覗き込んだり、触ったりしないでください。
- ・ 指や衣服を可動部品(スイング式カメラアーム、スタンド)に挟まないように注意してください。

安全にお使いいただくために…

必ずお守り下さい

この「取扱説明書」の表示では、本装置を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよくご理解いただいでから本文をお読み下さい。



**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。







**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 図記号の意味

	名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：装置を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：分解禁止 意味：装置を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：電源プラグをコンセントから抜け 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。

 警告	
	万一、装置から煙がでていたり、異臭や異音があるなど、異常状態の場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。煙などが出なくなるのを確認したのち、ただちに販売店に連絡して下さい。
	万一、装置の内部に水、金属類などの異物が入ってしまった場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せずただちに販売店に連絡して下さい。
	万一、装置を落としたり、カバーなどを破損した場合には、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せず、ただちに販売店に連絡して下さい。



## 警告



装置から液体が漏れ出している場合は、装置に触れない。失明や火傷などの事故の原因となります。特に、液体が目に入ってしまった場合は多量の水でただちに患部を洗浄し、至急医師の診断を受けて下さい。

また、液体に触れた場合や液体が染みた衣服などに触れた場合でも水道水でただちに洗浄し、医師の診断を受けて下さい。なお、これに併せてただちに販売店に連絡して下さい。



引火性のガスや発火性の物質がある場所では使用しない。火災、爆発の原因となります。



装置のカバー、キャビネットを外さない。感電の原因となります。  
内部の点検、整備や修理は販売店にご依頼下さい。



装置を分解、改造しない。火災や感電の原因となります。



表示された電源電圧で使用する。火災や感電の原因となります。



## 警告



風呂場、雨や雪が降っている屋外、その他水がかかる場所、湿気の多い場所では使用しない。感電の原因となります。



露の付いた状態で使用しない。感電の原因となります。



ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを装置の下敷きにしない。ケーブルが傷ついて火災や感電の原因となります。



ケーブルが痛んだら（芯線の露出、断線など）、すぐに使用を止め、販売店に交換を依頼する。火災や感電の原因となります。



ケーブルを無理に引っ張ったり、ねじったり、折り曲げたりしない。火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、装置や接続されたケーブルなどに触れない。感電の原因となります。



## 注意



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う。感電の原因となる場合があります。



装置を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。



ケーブルを着脱するときは、プラグ部分を持って行う。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。



ほこりの多い場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。  
電源プラグや接続部にほこりが付着している場合は取り除いて使用して下さい。



## 注意



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。



濡れた手でACアダプタ、電源プラグやケーブルを抜き差ししない。感電の原因となる場合があります。

## 内容物

パッケージの中に、以下の物が全て入っているかご確認ください。もし不足がある場合は、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

- コンパクト 10 スピーチ本体
- 専用ケース
- AC アダプター、USB-C ケーブル
- クリーニングクロス
- 取扱説明書
- 保証書、ユーザー登録用紙
- 性能確認用サンプル
- クイックスタートガイド

## 2. 操作方法

本機は、画面が上向きで正面に正しく配置されていると、画面上に Optelec のロゴが表示されます。





## 2.1. 各部の説明

本体の左側に次のボタンと接続口があります。



**①電源ボタン**

オレンジ色の電源ボタンを長押し(オンは約2秒、オフは約6秒間)すると、本体をオンまたはオフすることができます。電源が入っている時にボタンを短く押すと、本体が待機モードになります。待機モード中にボタンを短く押すと、待機モードから復帰します。

充電中にUSBケーブルを接続したまま電源を入れる場合は、画面にOptelecのロゴが出るまで電源ボタンを押し続けてください。

**②イヤホンジャック**

音声出力ジャックを使用して、本体とヘッドホンを接続します。

**③USB-C端子**

本機を充電する際や、パソコンと接続する際にこの端子を使用します。

**④スタンドの脚**

スタンド使用時に本体を支える折り畳み式脚。脚は本体側に折り畳みます。

**⑤スタンド**

本体を安定して支えるスタンド。

**⑥スイング式カメラアーム**

本体に収納されていますが、本体右側に引き起こすことでA4サイズ撮影用カメラが起動します。

**⑦A4サイズ撮影用カメラ**

スイング式カメラアームの上部についている、A4サイズ原稿を撮影したり、筆記したりする際に使用するカメラ。

## 2.2. バッテリーの充電

充電するには、同梱の AC アダプターに USB-C ケーブルを接続し、もう片方を本体左側面にある青い部分の USB-C 端子に接続してから、AC アダプターをコンセントに接続して、充電してください。充電時は電源ボタン横の LED が赤く点灯します。充電が完了すると LED は緑色に変わります。緑色の LED が分かりにくい場合は、軽く1度電源ボタンを押して充電状態を確認してください。充電状態の確認については、「2.3 充電状態の確認」をご参照ください。

電源オフ時に充電が始まると、本機の画面にロゴが表示されますが、電源は入りません。

充電を完了するには約 4 時間かかります。充電完了後、約 3.5 時間連続で使用できます。なお、連続して使用できる時間は使用状況により変化します。安全にお使いいただく為、AC アダプターと USB ケーブルは付属の製品を使用してください。

### 充電警告

本機を使用中にバッテリーの残量が少なくなると、警告アイコンが表示されます。この表示が出た場合は、必ず本体を充電してください。充電が空になると、自動的に本体の電源が切れます。

電源が入らない場合は、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

## 2.3. 電源オン/オフ

本体左側面のオレンジ色の電源ボタンを、画面に Optelec のロゴが出るまで押し続けてください。ロゴが出てから約 20 秒後に画面に画像が表示されます。電源オフ時の充電中に、USB ケーブルを接続したまま電源ボタンを押すと充電状態の表示が出ます。そのまま画面に Optelec のロゴが出るまで電源ボタンを押し続けてください。電源を切るには、もう一度約6秒間電源ボタンを押します。約 15 秒間、ブープ音が鳴り、電源が切れます。本体の設定でブープ音を出ないように設定することも可能です。設定方法については、「6. 3. 17 音」をご参照ください。

## 待機モード

一定時間本体の操作が何も行われない場合、省電力機能が働き、自動的に待機モードになります。オレンジ色の電源ボタンを押すと、再びオンになります。待機モードになるまでの時間は、メニューから変更、または、無効にできます。設定方法については、「6. 3. 18 待機」をご参照ください。

使用中に電源ボタンを軽く押すと、任意に待機モードにすることができます。もう一度、電源ボタンを軽く押すと、待機モードは解除されます。待機モード中に電源をオフにする場合は、一度電源ボタンを押し、待機モードから復帰させてから、電源をオフにしてください。

## 充電状態の確認

充電状態の確認は、簡単モードか標準モードかによって確認方法が変わります。各モードについては、6. 簡単モードと標準モード、をご参照ください。

簡単モードの場合は、待機モードから復帰させた際に確認できます。

標準モードの場合は、メインメニューから確認することができます。メインメニューの開き方は、「6.3 メインメニュー」をご参照ください。

電源が入っていない状態で、充電状態を確認するには、本体にACアダプターを接続し、充電状態にすることで、充電状態が表示されます。この時、充電状態は表示されますが、本体の電源は入りません。

#### 電源が入っている時の充電状態の表示



充電完了



充電中 (雷マークは満充電でも表示されます)



ほぼ空

#### 電源が入っていない時の充電状態の表示



充電率が20%未満の場合、充電状態はオレンジ色で表示されます。

充電率が20%以上になると、充電状態は緑色で表示されます。

## 2.4. スタンドの開閉

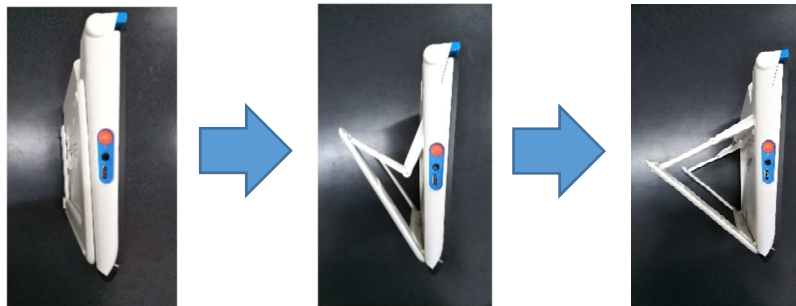
スタンドの開閉は、本体の落下防止のために、平らな机の上などで行い、本体の落下には十分ご注意ください。また、スタンドの開閉時に手のひらや指を挟まないようにご注意ください。

### スタンドの開き方

1. 画面が上向きで、Optelec のロゴが読める方向になるように設置し、本体を両手で持ちます。
2. 本体を手のひらで支えながら、スタンドを背面から引き出します。折り畳み式のスタンドの脚が完全にまっすぐになるまで引っ張り出します。

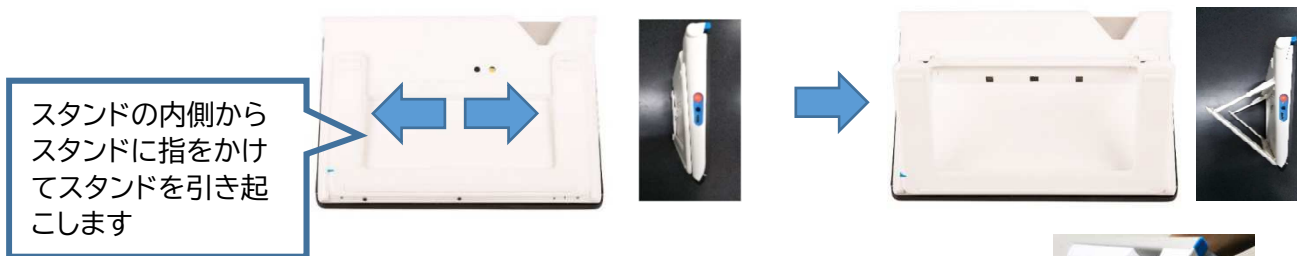
画面が点いている時にスタンドを開くと読書モードが起動します。画面は、人間工学に基づいた読書に適した角度に配置されます。

※写真はスタンドの状態を分かりやすくするために、左側面から撮影しています。



上記の操作でスタンドを開くことが難しい場合は、以下の方法でスタンドを開いてください。

1. 平らな机などの上に、画面が下、スタンドが上を向くように本体を設置します。  
※この時、画面の下に何も物がないことを確認して本体を設置してください。
2. スタンドの左右の端を両手の親指と人差し指でつまみ、スタンドの脚が完全にまっすぐになるまでゆっくりと背面から引き出します。



### スタンドの閉じ方

1. 画面が正面にくるようにします。
2. 本体の側面を両手の手のひらで支え、  
スタンドの脚の中央付近に指を置きます。
3. スタンドの脚を軽く本体側に押し、  
本体と平坦になるまでスタンドを押し戻します。



閉じる際は、スタンドの脚を軽く  
押して、ゆっくり折りたたみます。

## 3. カメラ

本体には 3 つのカメラが装備されており、状況に応じてそれぞれのカメラが起動します。すべてのカメラは、簡単モードと標準モードで使用できます。画像の焦点が合っていない場合は、画面をタッチすると焦点が再調整され、鮮明な画像を取得できます。

### 3.1. 読書モードカメラ

読書モードカメラはスタンドが開いた状態で、机の上などで読む場合に使用します。読む場合は、読みたい対象物の上に本体を置いて使用します。

### 3.2. 遠方モードカメラ

スタンドを閉じると遠方モードカメラが起動します。遠方モードカメラは、時刻表など離れた場所の物を確認する際に最適です。



### 3.3. A4 サイズ撮影用カメラ


A4 サイズ撮影用カメラは、アームが開いた状態で使用します。A4 サイズ撮影用カメラを使用すると、より広い空間で、写真や対象物をより快適に閲覧したり、筆記等の作業をしたりすることができます。このカメラを使用する場合は、アームを開ききった状態(アームが止まる位置まで本体右側に引き起こした状態)で使用してください。本体のスタンドを閉じた状態では、遠方モードカメラが優先されるため、A4サイズ撮影用カメラは使用できません。




## 4. アイコン


本機はタッチパネルを採用しており、画面にタッチすることで画面にアイコンを表示させ、表示されたアイコンをタッチすることで操作します。メニューのアイコンについては、6.3メインメニューをご参照ください。


本機で使用するアイコンは以下の通りです。


拡大アイコン  ... 倍率を大きくします。


縮小アイコン  ... 倍率を小さくします。


モードアイコン  ... 表示色を変更します。  
長押しすることで簡単モードと標準モードを切替えます。

読み上げアイコン  ... 静止画を撮影し、撮影した画像中のテキストを読み上げます。

再生/一時停止アイコン  ... 読み上げを一時停止、再生します。

オーディオアイコン  ... 読み上げ時に、音量や読み上げ速度の調整バーを表示します。  
3 秒以上タッチし続けると、音声、言語の設定メニューを表示します。


音量アイコン  ... 読み上げ時の音量調整を行うアイコンです。  
アイコンをタッチしたまま左右にスライドすることで、音量を調整できます。


読み上げ速度アイコン  ... 読み上げ時の読み上げ速度調整を行うアイコンです。  
アイコンをタッチしたまま左右にスライドすることで、読み上げ速度を調整できます。

終了アイコン  ... 現在の機能を終了し、動画に戻ります。


静止画アイコン  ... 画像を静止します。標準モードでのみ表示されます。


時計アイコン  ... 日時を表示します。標準モードでのみ表示されます。

メニューアイコン  … メニュー画面を表示します。標準モードでのみ表示されます。各メニュー項目については、「6.3 メインメニュー」以降をご参照ください。

コントラスト調整アイコン  … ハイコントラストモード時にコントラストの調整を行うアイコンです。アイコンをタッチしたまま左右にスライドすることで、コントラストを調整できます。

リセットアイコン  … コントラストを標準値に戻します。

戻るアイコン  … メニューなどから一つ前の画面に戻ります。標準モードでのみ表示されます。画面の左端、右端に表示されます。


フォーカスロックアイコン  … A4サイズ撮影用カメラ使用時にフォーカスをロックするアイコンです。







## 5. 読み上げ機能

本機ではA4サイズ撮影用カメラを使用し、A4 サイズで原稿を撮影し読み上げることができます。読書モード、遠方モード、A4 サイズ撮影モードのいずれのモードでも読み上げアイコンが表示されますが、読書モードでは撮影範囲が狭く、遠方モードでは周辺の環境により読み取り精度が下がるため、安定した精度で広い範囲を読み上げられる A4 サイズ撮影モードでの読み上げをお勧めします。以下では A4 サイズモードでの読み上げ方法をご説明します。

### 5.1 A4 サイズモードでの音声機能の使用方法

- A4サイズモードで原稿を読み上げるには、A4 サイズ撮影用カメラを立ち上げ、原稿の左下隅を本体右側にある青色の線に合わせて原稿が画面に映るように配置し、一度画面にタッチしてピントを合わせてから、読み上げアイコン  をタッチします。原稿を最適な状態で読み取るには、十分な光の下、影を作らないように撮影してください。原稿の文字が小さすぎると、認識の精度が失われたり、読み取りに失敗したりする場合があります。







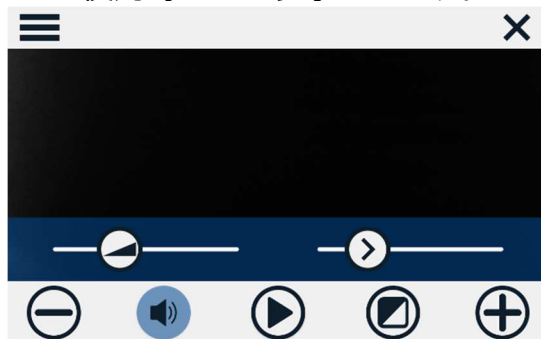
- 進行状況が表示され、完了すると画面にテキストデータとして表示し読み始めます。
- 読み上げを停止または再開するには、【再生/一時停止】アイコン  をタッチします。
- 指定した単語または場所から読み始めたい場合は、その場所のテキストを 2 秒以上タッチし続けてください。
- 【モード】アイコン  をタッチすると、テキストをお好みの色で表示することができます。色の組み合わせや表示の方法を変更したい場合は、「6. 3. 9 カラー」および「6. 3. 10 表示」をご参照ください。
- テキストが検出されない場合は、「文書が見つかりません」というメッセージが表示されます。
- 【拡大】アイコン 、【縮小】アイコン  で表示されるテキスト文字の拡大、縮小ができます。

※A4サイズ撮影用カメラは、A4サイズより少し広い範囲を撮影するため、原稿を置いているテーブルの様相等が読み上げに影響する場合があります。白い紙や無地の布を撮影範囲に敷いて、その上に原稿を置いて撮影すると読み上げ精度が改善する場合があります。



※画像を拡大した状態で読み上げボタンを押して読み上げ画像を撮影した場合、撮影される画像は最小倍率で撮影した状態の画像になり、撮影した範囲の最初から読み上げます。拡大した部分だけを読み上げることは出来ません。

## 5.2 音量と読み上げ速度の調整

音量や読み上げ速度を調整するには、画面をタッチして操作バーを表示し、【オーディオ】アイコン  をタッチします。そして、【音量】アイコン  と【速度】アイコン  をタッチし、左右へスライドさせるか、調整バーの任意の部分にタッチしてアイコンを移動させることで調整できます。【音量】および【速度】アイコンは、読み上げアイコン  使用時にのみ表示されます。




## 5.3 言語と音声の調整


簡単モードで言語や音声を変更する場合は、【オーディオ】 を長押しして音声メニューを表示します。標準モードの場合は、【メニュー】アイコン  をタッチし、メニュー画面に表示される【音声】アイコンをタッチします。詳しくは、「6. 3. 1 音声」をご参照ください。

## 5.4 テーブルモード

伝票、明細書などの罫線のある原稿を読み上げるために、本機にはテーブルモードがあります。

テーブルモードで読み上げるには、読み上げアイコン  を2秒以上タッチし続けて原稿を撮影します。そのように撮影すると、本機はテキストの最初の行を左から右に読み始め、次の行に移動します。


読み上げ機能を終了し、別の原稿を撮影すると、自動的に通常モードに戻ります。

テーブルモードを使用する場合は、原稿を読み取らせる際に、毎回読み上げアイコン  を2秒以上タッチし続ける必要があります。

※ テーブルモードは、通常モードよりも読み取り精度が下がります。原稿によっては通常モードで読み取った方が上手く読み取れる場合があります。



## 6. 簡単モードと標準モード

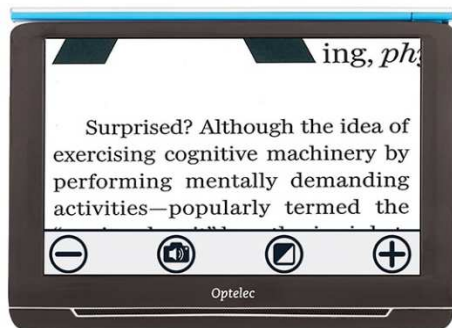
モードアイコン  を 2 秒以上タッチし続けると、【簡単】、【標準】のアイコンが表示されます。任意のアイコンにタッチすることで、簡単モードと標準モードを切り替えることができます。

### 簡単モードでの主な機能

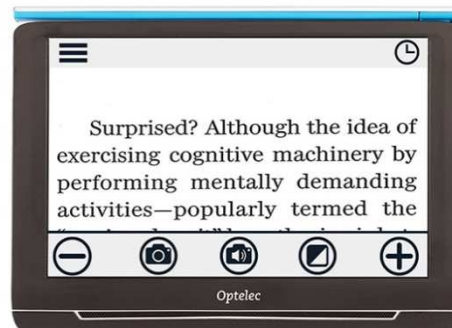
- 倍率の調整
- カラーモードの変更
- 静止画からのテキスト読み上げ
- 読書モード、遠方モードの切り替え
- A4 サイズ撮影用カメラによる拡大表示
- A4 サイズ撮影用カメラでの読み上げ

標準モードでは、簡単モードの機能に加えて以下の機能が使用できます。

- 日時設定
- 静止画の保存と表示
- 言語と読み上げ音声の変更
- 表示色の組み合わせの設定変更
- Bluetooth と Miracast
- テキスト読み上げ画像の保存と表示、再生
- その他の詳細設定



簡単モード



標準モード

## 6.1 簡単モードの機能

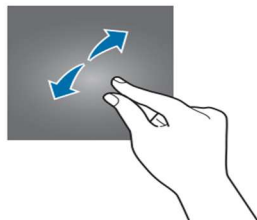
### 6.1.1 倍率の変更



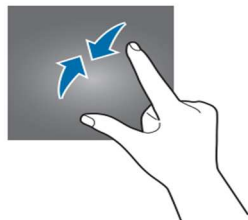
倍率を変更するには、画面にタッチし、操作バーの拡大アイコンをタッチすると拡大し、縮小アイコンをタッチすると縮小します。



または、画面上で2本の指をくっつけたり離したりして、ピンチイン/ピンチアウトをして倍率を変更することもできます。画面に2本の指を乗せ、2本の指の間を広げるように動かすと、拡大します(ピンチアウト)。その反対に、2本の指でつまむ(間を狭める)ように動かすと、縮小します(ピンチイン)。



ピンチアウト




ピンチイン

操作バーは再度画面にタッチするか、10 秒間画面にタッチしないと自動的に消えます。

## 6.1.2 カラーモードの変更




操作バーにあるモードアイコン  をタッチし、次の表示モードから一つ選択します。

- フルカラーモード : フルカラー表示
- ハイコントラストモード : 白文字に黒背景 (初期設定)
- ハイコントラストモード : 黒文字に白背景 (初期設定)
- ハイコントラストモード : 黄文字に黒背景 (初期設定)
- ハイコントラストモード : 黄文字に青背景 (初期設定)

約 10 秒間画面にタッチしなければ、操作バーは自動的に消えます。操作バーをすぐに消したい場合は、画面上のアイコン以外の場所をタッチしてください。

### 6.1.3 コントラストの調整



ハイコントラストモードで使用時に、指 3 本で同時に画面を 3 秒以上タッチし続けると、画面の上部にコントラスト調整バーが表示されます。バーのアイコンをタッチし左右へスライドさせるか、コントラスト調整バーの任意の部分にタッチしてアイコンを移動させることで、コントラストを調整することができます。標準値に戻すには、リセットアイコン  をタッチします。文字色と背景色の組み合わせが 黒文字—灰色背景 の時は、調整バーは表示されますが、コントラストは調整できません。約 10 秒間画面にタッチしなければ、調整バーは自動的に消えます。

なお、コントラスト調整は以下の 2 種類のコントラストモードグループでそれぞれ調整可能です。一方のコントラストモードグループで調整したコントラストは、もう一方のグループには反映されませんのでご注意ください。

#### コントラストモードグループ①（背景が黒か青）


白字—黒背景   黄字—黒背景   緑字—黒背景   黄字—青背景   白字—青背景  
琥珀字—黒背景   赤字—黒背景   紫字—黒背景



#### コントラストモードグループ②（文字が黒か青）

黒字—白背景   黒字—黄背景   黒字—緑背景   青字—黄背景   青字—白背景  
黒字—琥珀背景   黒字—赤背景   黒字—紫背景

### 6.1.4 テキスト読み上げ




読み上げアイコン  をタッチすると、原稿を撮影し、テキストを読み上げます。

再生/一時停止アイコン  をタッチすると、読み上げを開始または一時停止します。画面をタッチすると、操作バーが表示され、倍率、カラーモード、音量、読み上げ速度、音声の変更ができます。右上隅の終了アイコン  を押してテキスト読み上げを閉じると、動画に戻ります。

読み上げ機能の使用方法については、「5. 読み上げ機能」をご参照ください。




### 6.1.5 フォーカスロック



A4サイズ撮影用カメラ使用時にはフォーカスをロックすることが出来ます。画面の右上隅にあるフォーカスロックアイコン  をタッチして、フォーカスをロックまたは解除します。フォーカスロック使用中はアイコンの周囲が青くなります。筆記や作業等をする際は、フォーカスロックを使用しないと画面がペン先の動きに追従しないことがありますので、フォーカスロックを使用してください。フォーカスロック中に画面をタッチすると、フォーカスを合わせる動作をします。この際にカメラの下に手等を入れていると、手にフォーカスが合いますのでご注意ください。

## 6.2. 標準モードの機能（簡単モードに追加される機能）


### 6.2.1 日時設定

日時を設定するには、画面をタッチし、右上隅にある【時計】  をタッチします。変更したい日付、または時間をタッチします。変更したい項目をタッチするか、項目の値の上下にある矢印をタッチして調整します。画面の右端の戻るアイコン  をタッチすることで、日時表示画面に戻ります。動画に戻すには、画面の左端の戻るアイコン  をタッチします。

### 6.2.2 静止画撮影



静止画を撮影する場合は、静止画アイコン  をタッチします。静止画の倍率とカラーモードは変更することができます。右上隅の終了アイコン  をタッチして静止画を閉じると、動画に戻ります。

静止画アイコン  をタッチしてからシャッターが切られるまでは少し時間がかかります。静止画の撮影中に本機および被写体を動かすと正しく撮影できません。静止画アイコンに

タッチしてからシャッター音がなり、撮影が完了して画像が表示されるまでは、本体及び被写体を動かさずにお待ちください。



拡大表示した画像の静止画を撮影した場合、拡大した画像の静止画が表示されます。ただし、撮影されている範囲は最小倍率で撮影した場合の範囲ですので、倍率を変更して全体を表示することも可能です。

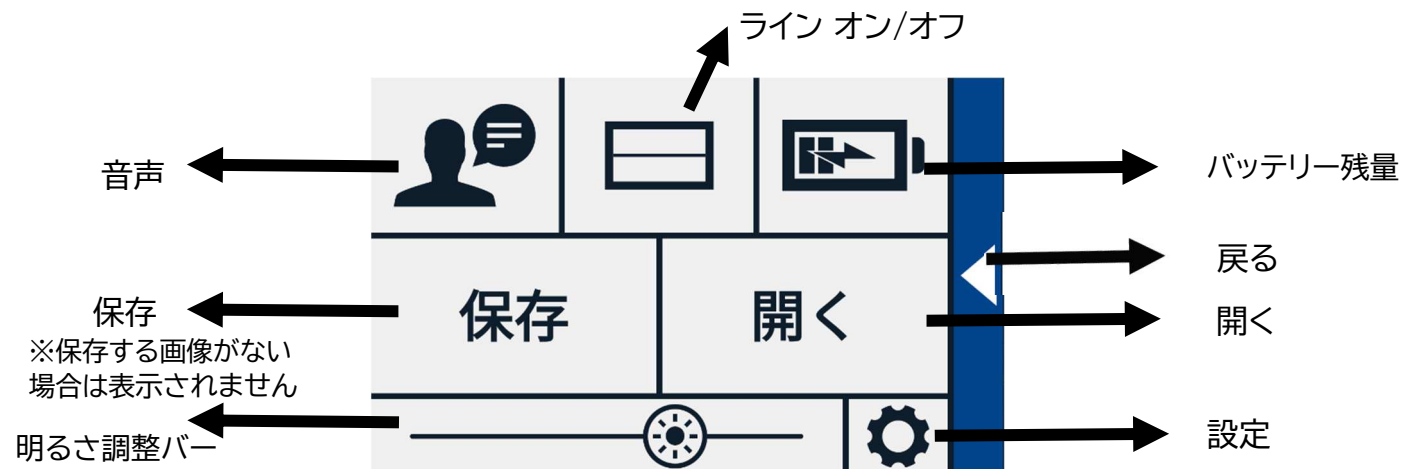


### 6.3. メインメニュー

#### メインメニューの開閉

メインメニューを開くには、画面にタッチして操作バーを表示し、画面左上側にあるメニューアイコン

 をタッチします。メニューを閉じるには、戻るアイコン  をタッチします。





### 6.3.1 音声

メインメニューを開き、音声アイコンをタッチすると、音声、言語の選択や追加や削除ができます。


#### 音声、言語の選択

このメニュー項目では、読み上げの音声と言語を選択できます。読み上げ音声を変更するには、メインメニューの左上隅にある音声アイコンをタッチすると、設定済みの音声リストが開きます。選択したい音声にタッチすると音声を変更できます。音声は言語に対応しています。音声を変更した際は、メニューで表記される言語も自動的にその言語に変更されます。

#### 音声と言語の追加や削除

音声や言語を追加または削除するには、メインメニューの左上隅にある音声アイコンをタッチし、設定済みの音声リストを開き、【追加/削除】をタッチします。読み上げ音声を追加または削除するには、選択したい言語にタッチします。すると、選択した言語で利用可能な音声のリストが表示されます。読み上げ音声を変更するには、選択したい音声にタッチします。音声名の後にチェックマークが付けば、その音声の有効になっています。選択した音声の有効になると、メインメニューの音声アイコンでもその音声を使用できるようになります。音声名にタッチしチェックマークが消えると、選択が解除され利用可能な読み上げ音声から削除されます。


### 簡単モードの音声と言語の選択

簡単モードでは、メニューを開くことはできません。簡単モードで音声や言語を選択するには、読み上げを実行し、画面にタッチして操作バーを表示させ、オーディオアイコン  を 3 秒以上タッチし続けると設定済みの音声リストが開きます。そして、上記の手順と同様に行います。

### 6.3.2 ライン オン/オフ

読書する際に、読んでいる行を見失わないためのラインを表示することができます。ラインを表示するには、ラインアイコンにタッチして、ラインをオンにします。もう一度ラインアイコンにタッチすると、ラインはオフになり表示されません。ラインの位置はメインメニューの設定の中の、「6.3.13 ライン」の項目から変更できます。

### 6.3.3 バッテリー残量

バッテリー残量はメインメニュー画面の右上に表示されます。バッテリーのアイコンにタッチすると、新たに画面が開き、拡大されたバッテリーのアイコンでバッテリー残量が表示され、ソフト情報のアイコンも表示されます。メインメニューに戻るには、戻るアイコン  をタッチします。充電中はバッテリーのアイコンの上に雷マークが表示されます。

## ソフト情報



ソフト情報のアイコンにタッチすると、アプリケーションのバージョン情報が表示されます。

### 6.3.4 保存

静止画や読み上げ画像を保存するには、静止画もしくは読み上げ画像を撮影した後、メインメニューを開いて【保存】をタッチします。保存される画像は最小倍率、フルカラーモードで撮影された場合の画像が保存されます。保存する画像がない場合、【保存】は表示されません。

読み上げ画像を保存する際、読み上げアイコンをタッチしてから保存できる状態になるまでに、少し時間がかかります。画面上側に表示されるゲージが左から右へ動いている動作は、画像を読み込んでいる最中であることを示しており、ゲージが動いている間は画像の保存はできません。ゲージの動きが止まった後で画像が保存できるようになります。

### 6.3.5 開く



保存した画像を開くには、メインメニューを開き、【開く】をタッチします。保存した画像の縮小画像のリストが表示されます。最後に保存された画像が一番先に表示されます。見たい画像をタッチすると画像が表示されます。保存した画像が多く、リストが画面に収まらない場合は、上下にスワイプ(画面にタッチしたまま、指を上下に動かす)してリストをスクロールします。縮小画像の左下のアイコンは、その画像が静止画画像  か読み上げ画像  のいずれで保存されたかを示しています。

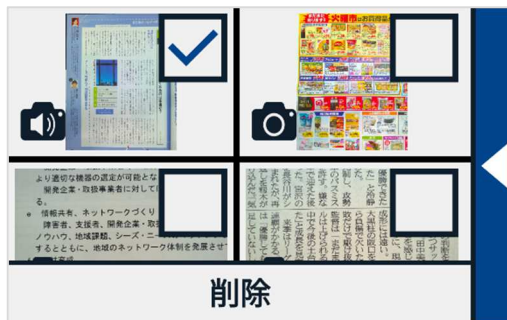


### 6.3.6 削除

画像を削除するには、メインメニューを開き、【開く】をタッチします。保存した画像の縮小画像のリストが表示されたら、【削除】をタッチします。各画像の右上にチェックボックスが表示されます。削除したい画像にタッチすると、チェックボックスに✓マークが表示されます。同じ画像にもう一度タッチすると、✓マークは消えます。画像を選択後、【削除】をタッチすると、「選択した画像を削除しますか」というメッセージが表示されます。【はい】をタッチすると、選択した画像が削除され、チェックボックスの画面に戻ります。【いいえ】をタッチすると、チェックボックスに✓マークが入った状態の画面に戻ります。

全ての画像を削除するには、【削除】をタッチしてチェックボックス表示させ、画像を選択しないでもう一度【削除】をタッチします。「全ての画像を削除しますか?」というメッセージが表示されます。【はい】をタッチすると、全ての画像が削除され、メインメニューに戻ります。【いいえ】をタッチすると、チェックボックスの画面に戻ります。

戻るアイコン  をタッチすると、画像選択画面に戻ります。もう一度戻るアイコン  をタッチすると、メインメニューに戻ります。



画像を削除する

### 6.3.7 明るさ調整バー

画面の明るさを調整するには、太陽アイコンを左右にスライドさせます。



### 6.3.8 設定

右下にある歯車マークの設定アイコンをタッチして、設定メニューを開きます。メニュー項目は以下の通りです。

カラー  
MIRACAST  
ライン  
アイコン表示色  
音  
初期設定


表示  
BLUETOOTH  
操作バー  
照明  
待機

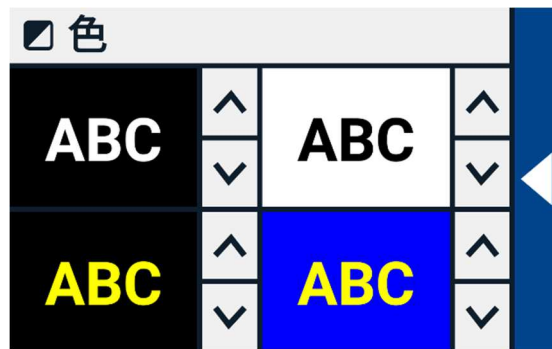


### 6.3.9 カラー

【カラー】にタッチすると、お好みのハイコントラストモードが設定できます。ハイコントラストモードは 4 パターン設定でき、それぞれに文字色と背景色を設定できます。ハイコントラストモードは3つまで表示しない【×】にできます。

#### 文字色と背景色の変更方法

1. 変更したいハイコントラストモードの上または下矢印をタッチすると、色の組み合わせが変わります。
2. 4 つのハイコントラストモードの内、左上のハイコントラストモード以外は、表示しない【×】を選択できます。
3. 戻るアイコン  をタッチすると、設定メニュー画面に戻ります。



#### 文字色と背景色の組み合わせ（全17種類）

白字—黒背景	黒字—白背景	黒字—黄背景	黒字—緑背景	青字—黄背景
青字—白背景	黒字—琥珀背景	黒字—赤背景	黒字—紫背景	黄字—黒背景
緑字—黒背景	黄字—青背景	白字—青背景	琥珀字—黒背景	赤字—黒背景
紫字—黒背景	黒字—灰色背景	※ 黒字—灰色背景の場合は、コントラストが調整できません		





### 6.3.10 表示

【表示】にタッチすると、テキスト読み上げ機能で取得したテキストの表示方法とハイライト方法を変更できます。ハイライト方法とは、現在読んでいる箇所を示す方法です。


【モード】の初期設定はコラム表示です。タッチする毎に、オリジナル、ライン、コラムの順で表示方法を選択できます。

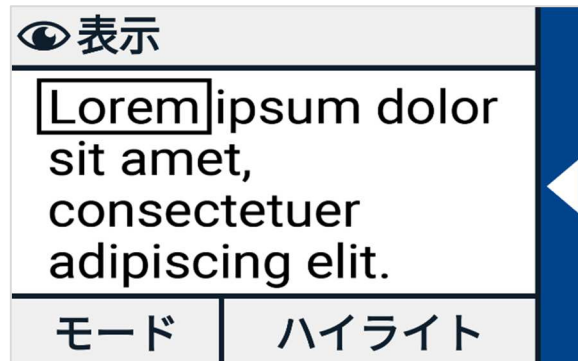
コラム・・・数行をテキスト表示し読み上げる

オリジナル・・・取得した画像を表示し読み上げる

ライン・・・1行をテキスト表示し読み上げる

【ハイライト】の初期設定は囲み表示です。タッチする毎に、下線、囲みの順で、現在読み上げている単語の表示方法を選択できます。

テキスト読み上げ中のハイコントラストモードのカラーは、操作バーのモードアイコン  にタッチすることで変更できます。



### 6.3.11 MIRACAST(ミラキャスト) : モニターやテレビへのワイヤレス接続機能

MIRACAST は、モニターにワイヤレスで接続する伝送技術(規格)です。MIRACAST に対応している機器同士は無線で接続できます。本機の MIRACAST 機能を使用するには、モニターや TV が MIRACAST に対応している必要があります。モニターや TV が MIRACAST に対応しているかは、モニターや TV などの取り扱い説明書をご参照ください。

MIRACAST を利用して本機をモニターや TV に接続するには、まず本機に接続しようとする機器の電源を入れます。次に本機の設定メニューで【MIRACAST】をタッチして、MIRACAST の画面を表示します。(MIRACAST がオフになっている場合は、この画面の【MIRACAST】をタッチして、MIRACAST 機能をオンにします。)

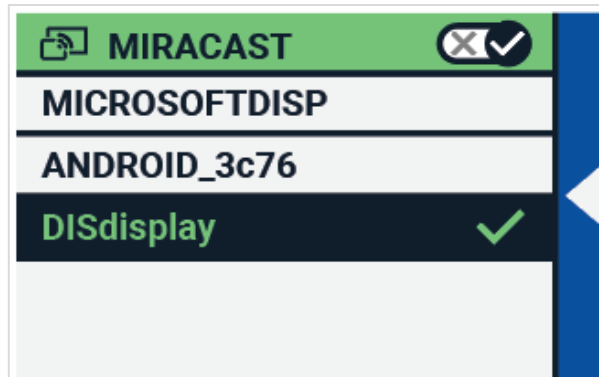
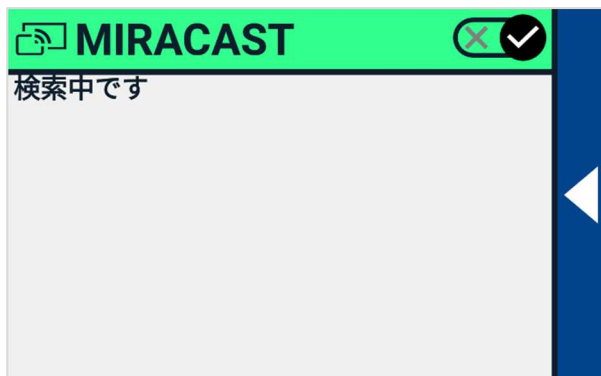
しばらくすると、利用できる機器が表示されますので、接続する機器名をタッチします。「デバイスに接続しますか？削除しますか？」というメッセージが表示され、【接続】と【削除】の選択肢が表示されます。【接続】にタッチすると接続が始まります。接続が確定するまで 1 分ほどかかる場合もあります。モニターや TV に「接続中」と表示されると、本機の接続機器リストの機器名の表示が緑色に変わり、接続が確定します。

【削除】をタッチすると、本機と機器との接続が完全に削除されてしまい、再度接続するには、初めからやり直す必要があります。

安定した接続を維持するために、本体からモニターや TV など接続する機器との距離を 1 メートル以内にしてください。接続の状況によって、映像や音声の遅延が発生する場合があります。

正常に接続が完了すると、本機の画面と同じ内容がモニターや TV に映ります。接続されると映像と音声の両方がモニターや TV に配信されます。接続状況により、映像や音声に遅延が発生する場合があります。

接続を切断するには接続機器リストで、機器名を再度タッチすることで接続を解除できます。





### 6.3.12 BLUETOOTH (ブルートゥース)

【BLUETOOTH】にタッチすると、BLUETOOTH に対応した機器との接続設定ができません。BLUETOOTH スピーカーやヘッドホンに接続するには、BLUETOOTH 機器のスイッチを入れ、ペアリング状態にした上で、本機の設定メニューを開き、【BLUETOOTH】にタッチし、【検索】をタッチします。



本機は接続可能な機器を検索し、接続可能な機器のリストが表示されます。

接続するには、機器名をタッチし、必要に応じて PIN コードを入力します。デバイスの PIN コードについては、本機に接続しようとしている機器のマニュアルをご参照ください。

機器が既にリストにある場合、機器名をタッチすると、接続するか削除するかを尋ねるメッセージが表示されます。【接続】をタッチすると、接続します。【削除】をタッチすると、本機と機器との接続が完全に削除されてしまい、再度接続するには、ペアリングからやり直す必要があります。

誤った機器名をタッチした場合は、【接続】や【削除】以外の部分の画面をタッチすると、機器のリスト画面に戻ります。

一度接続された機器は次回以降、自動的に検索リストに表示されます。また、機器の電源が入っており、他の機器と接続されていない場合は、自動的に機器に接続します。

接続可能な機器が表示されない場合は、再度【検索】をタッチして機器を検索します。検索を開始する前に、本機と接続しようとする機器の電源がオンになっていてペアリング状態であることを確認してください。機器をペアリング状態にする方法については、本機に接続しようとしている機器のマニュアルをご参照ください。

接続可能と表示された機器に接続できない場合、その機器が既に別の機器と接続されている可能性があります。他の機器との接続を解除したうえで、本機と接続してください。

本機に接続すると、機器名にチェックマークが付き、緑色で表示されます。機器の接続を解除するには、再度機器名をタッチします。機器名のチェックマークが外れて接続が解除されます。

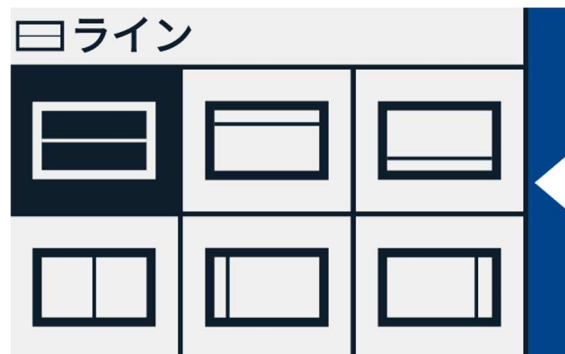
本機と機器のペアリングを完全に削除する場合は、本機と機器が接続していない状態で機器名をタッチします。接続か削除の選択しが表示されますので、【削除】をタッチします。機器はリストから削除されます。一度削除した機器を再度接続する場合は、ペアリングからやり直す必要があります。

注意:Bluetooth バージョン 4.0 以降のスピーカーやヘッドホンのみ使用できます。

### 6.3.13 ライン

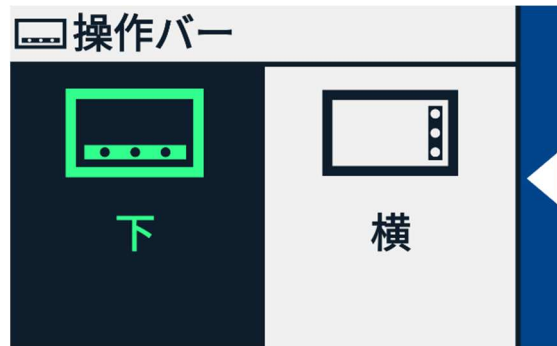
【ライン】にタッチすると、ラインの位置を設定できます。設定位置は、横ライン中央、横ライン上側、横ライン下側、縦ライン中央、縦ライン左側、縦ライン右側の6パターンがあります。初期設定では、【横ライン中央】に設定されています。

ラインのオンとオフはメインメニューのラインアイコンにタッチすることで切替えることができます。



### 6.3.14 操作バー

【操作バー】にタッチすると、お好みに応じて、操作バーの位置を画面の下側または右側の 2 つの位置のいずれかに変更できます。初期設定は【下側】に設定されています。



### 6.3.15 アイコン表示色

【アイコン表示色】にタッチすると、アイコン表示を標準もしくは反転に設定できます。初期設定は【標準】に設定されています。



### 6.3.16 照明

【照明】にタッチすると、読書モード、遠方モード、A4サイズ撮影モードで使用する照明のオン/オフを設定できます。

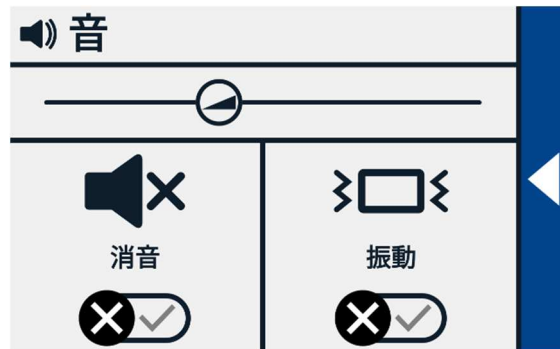
初期設定では、読書モードは照明オン、遠方モードは照明オフ、A4サイズ撮影モードは照明オンになっています。



### 6.3.17 音

【音】にタッチすると、音量の変更や、消音や振動のオン/オフを設定できます。初期設定では、消音と振動は共にオフになっています。

振動がオフになっていても、電源のオンとオフの操作時は振動します。





### 6.3.18 待機

【待機】にタッチすると、待機時間を設定できます。設定した時間内にタッチ操作などが検出されない場合に待機状態になります。

待機状態にすることで、節電効果が得られます。

初期設定では、5分に設定されています。

本体左側面の電源ボタンを押すと、待機状態から復帰します。

待機をオフにするには、【なし】を選択してください。

待機時間を設定している時に、本体を動かしたり、ACアダプターに接続されたりしていても、画面のタッチ操作が検出されないと待機状態になります。

Zz 待機		
なし	1分	2分
5分	15分	30分

### 6.3.19 初期設定

【初期設定】にタッチすると、設定を初期設定に戻すことができます。【初期設定】をタッチすると、「初期設定に戻しますか?」とメッセージが表示されます。初期設定に戻す場合は、【はい】をタッチし、やめる場合は【いいえ】をタッチしてください。

初期設定に戻しますか?	
はい	いいえ

【はい】をタッチすると、「初期設定に戻りました。」

というメッセージが表示され、簡単モードに戻ります。

【いいえ】をタッチすると、設定メニュー画面に戻ります。

初期設定を実行すると、以下の項目がリセットされ、初期設定になります。

MIRACAST、BLUETOOTH の接続機器リストは保持されます。

使用言語は選択されている言語が保持されます。

(英語を設定している場合は、初期設定しても英語のまま保持されます。)

初期設定を行うと、メニュー項目が以下の通りに設定されます。

色： 白字—黒背景、黒字—白背景、黄字—黒背景、黄字—青背景のハイコントラストモード

表示： コラムモード、囲みハイライト

ライン： 横ライン中央(表示はオフ)

操作バー： 下側

アイコン表示色： 標準

照明： 読書用ライトはオン、遠方用ライトはオフ、A4 サイズ撮影用ライトはオン

音： 消音はオフ、振動はオフ、音量は初期設定値

待機： 5 分

## 7. 画像をパソコンに転送する

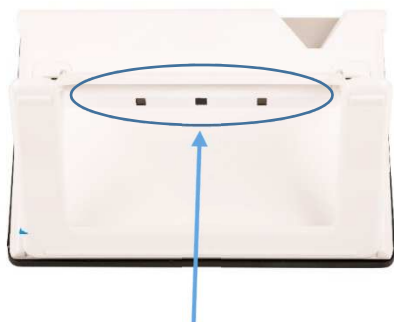
画像をパソコンに転送するには、Windows 10 のパソコンと付属の USB ケーブルが必要です。手順は以下の通りです。

1. 本機とパソコンの電源を入れます。
2. 本機とパソコンを USB ケーブルで繋ぎます。すぐに本機の画面に【パソコンに接続されました】とメッセージが表示されます。
3. 初めて接続する場合は、Windows が機器のセットアップを完了するまでお待ち下さい。
4. Windows の設定により、自動でデータを転送する画面が開きます。
5. 自動的に表示されない場合は、Windows エクスプローラーを開き、「CP10」を選択します。
6. 「Internal shared strage」をクリックし、「DCIM」フォルダーをクリックします。
7. 「DCIM」フォルダには、画像を撮影した日時が名前になったフォルダが入っています。フォルダ内には、本機で撮影した画像(jpg ファイル)等が入っています。読み上げ用で撮影したフォルダには、読み上げ用として処理したテキストデータ(txtファイル)や画像(jpgファイル)も含まれています。
8. 必要な画像(JPG ファイル)をコピーアンドペーストして、ファイルをパソコンに取り込みます。  
※本機のバグ防止のため、本機をパソコンと接続した際には、パソコンでの操作で「DCIM」内のデータを削除しないでください。また、「DCIM」以外のフォルダは触らないようにしてください。

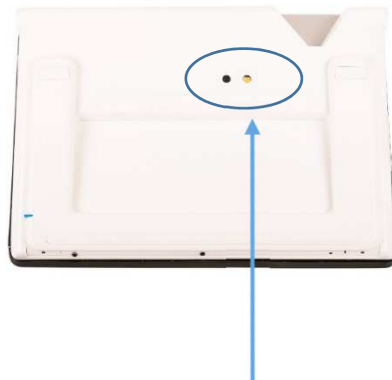
## 8. カメラのお手入れ

画像を最適な状態で見するには、カメラのレンズとウィンドウを清潔に保つことをお勧めします。カメラウィンドウが汚れていると、画像がぼやけ、オートフォーカスの焦点が合わなくなる場合があります。カメラのお手入れをする際は、付属のクリーニングクロスまたはその他のレンズ用の柔らかい布を使用してください。

注意:カメラウィンドウのお手入れの際は、水や洗剤等を使用しないでください。



読書モード用カメラとライト



遠方モード用カメラとライト



A4サイズ撮影用カメラとライト

## 9. 製品仕様

読書モード倍率	約 2.2 倍～22 倍（ピントが合う高さは約1cm）
遠方モード倍率	遠方モードの倍率はカメラと被写体の距離により変化します。 遠方モードでは 15 cmから無限大でピントが合います。
A4 サイズ撮影モード倍率	約 0.5倍～13 倍（ピントが合う高さは約 14cm）
表示モード	フルカラーモード ハイコントラストモードを4種類登録可能 (17種類のカラーモードから選択)
フォーカス	オートフォーカス
画面	10 インチ TFT 液晶
画面解像度	1280 x 800p
寸法	261mm x 189mm x 36 mm
重量	約 950g
連続使用時間	約 3.5 時間
充電時間	約 4 時間
リチウムイオンバッテリー	充電式 3.7V, 7600mAh, 28.12Wh
AC アダプター	出力: DC5.1V 2.4A
動作環境	温度: +10℃ ～ 35℃ 湿度: 結露の無い状態で、70%以下

## 10. お客様相談室

フリーダイヤル: 0120-886610

対応時間: 平日 9:00~12:00 13:00~17:30  
(土曜・日曜・祝日は休み)

製造元: Optelec

輸入販売元: 株式会社 システムギアビジョン

〒665-0051

兵庫県宝塚市高司1-6-11

TEL:0797-74-2206

FAX:0797-73-8894

URL:<http://www.sgv.co.jp>

Email:[sgv-info@systemgear.com](mailto:sgv-info@systemgear.com)





UDC-02290  
Rev: A